

# 第2回「安曇野の自然まるわかり観察会」

- 日時：8月23日（土） 9：30～12：00
- 場所：自然体験交流センターせせらぎ（明科）
- 講師：市川 哲生 様（環境アセスメントセンター）
- 参加人数：22名（大人8名、子ども14名）
- 事務局スタッフ：深澤係長、飯田、岡本、百瀬、中根
- 内容

湧水地で、初めての  
投網体験！

「湧水地帯の豊かな水辺」をテーマとして、安曇野市明科地域の自然体験交流センターせせらぎ周辺をフィールドに自然観察会を実施しました。朝から天候も良く、気温も上がりましたが、絶好の観察会日和となりました。

まずはせせらぎ横の水路にて、水生動物（水の中の生きもの）の観察をしました。トビケラの仲間やカゲロウの仲間、トンボのヤゴ、プラナリアなどが採集できました。水生動物の観察の後は犀川河原へ移動し、投網体験をしました。水際の岸辺から実際に投網を打ちます。事前に講師の先生が打った投網では、オイカワやウグイなどを採ることができました。



はじめの会



水路の水生動物採集



せせらぎ内での座学



投網の解説と体験

観察会では、水の中の虫はみんな幼虫であることやトビケラは網を張ってひっかかる有機物を

食べていること、水生昆虫が水の浄化に役立っていることなどを教えていただきました。また最後には、まとめとして講師の市川さんから、以下の様なお話しがありました。

- 水中にも外来種があり、今回もたくさんとれたコモチカワツボも外来種である。魚でもブラウトラウトなどがみられる。
- 水生生物は、水の汚れの原因となる有機物を食べる種類も多い。水質が良く美しい水辺をつくることに貢献していることを覚えておいて欲しい。

【教えてもらった生きものなど】

昆 虫…ヒゲナガカワトビケラ、フタスジモンカゲロウ、ヤマトビケラ、マツモムシ、トンボのヤゴ（サナエトンボ）、  
魚 類…ヨシノボリ、アブラハヤ、オイカワ、ウグイ、ニジマス  
その他動物…ヨコエビ、シマイシビル、サワガニ、コモチカワツボ、プラナリア



ヒゲナガカワトビケラ  
(水中に網を張り、流れ下る有機物を  
引っかけて食べます)



プラナリア  
(水中の掃除屋さん)



コモチカワツボ (外来種)



ウグイ